

令和2年1月31日

まちづくり委員会資料

五反田川放水路整備事業の進捗状況について

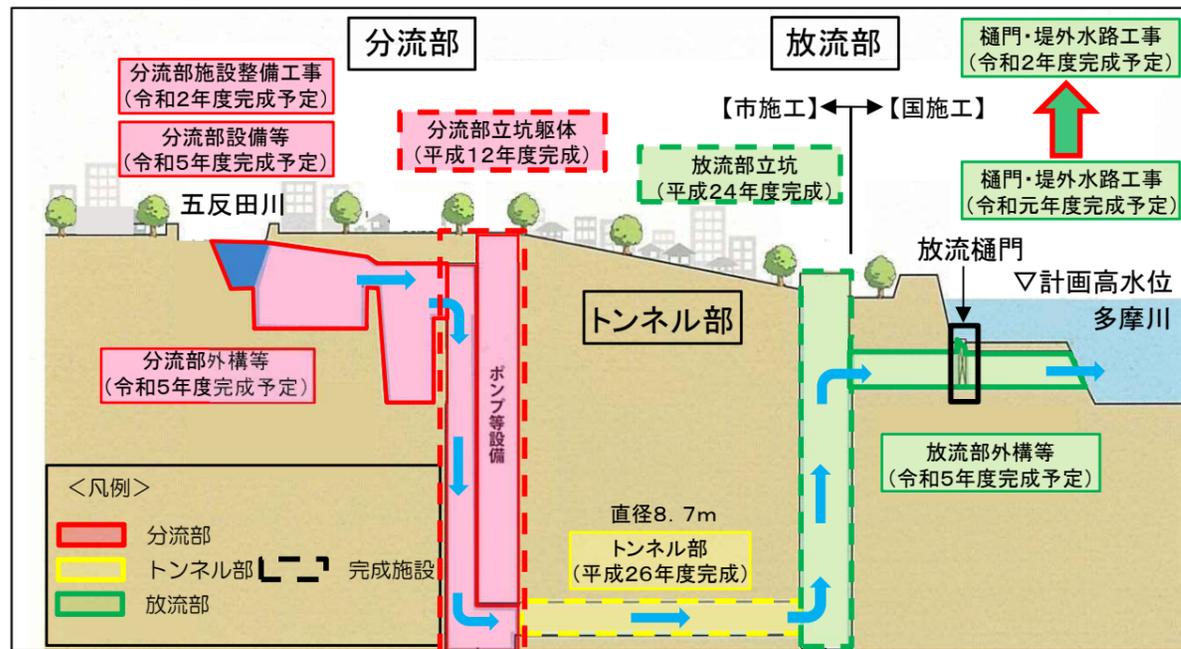
建設緑政局

五反田川放水路整備事業の進捗状況について

1 事業概要

- 五反田川：一級河川 流路延長L＝約4.8km 流域面積A＝約8km²の概要
 - ・洪水時には下流まで約20分で流下する
 - ・二ヶ領本川との合流部で度重なる浸水被害が発生
- 目的：五反田川がつながる二ヶ領本川の沿川は市街化された地域で家屋が立ち並んでいる状況であることから、河道拡幅による改修が困難である。そのため、五反田川の洪水全量を地下トンネル経由で多摩川へ直接放流することにより分流部下流域の洪水被害を軽減する。
- 効果：放水路下流域の五反田川及び二ヶ領本川の流下能力は、将来計画である時間雨量90mmまでの対応が可能となり、治水安全度の向上が図られる。
- 事業期間：平成4年度～令和5年度
- 施設内容：延長 2,157m（トンネル部・分流部・放流部）
- 事業費：約300億円
 - ※都市基盤河川改修事業として国、県、市で1/3ずつ負担

【縦断図】



【事業経過】

- 平成4年度 事業着手
- 平成12年度 分流部立坑躯体完成
- 平成20年度 用地、区分地上権取得完了
- 平成24年度 放流部立坑完成
- 平成26年度 トンネル部完成
- 平成27年度 放流樋門・堤外水路工事着手 (国委託)
- 平成28年度 分流部施設整備工事着手
- 令和元年度 設備その1工事完成 (本川締切ゲート)

【位置図】



2 今後のスケジュール

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
分流部	施設整備工事	施工中				
	設備その2工事（機械）					
	電気工事					
外構等	管理棟建築工事					
	土木外構工事					
放流部	樋門・堤外水路工事（国委託）	施工中	※			
	土木外構工事					
	管理棟建築工事					

※令和元年度中の暫定運用開始を目指して事業を推進しておりましたが、台風第19号の影響や不発弾処理及び周辺調査により、令和2年6月に延期します。

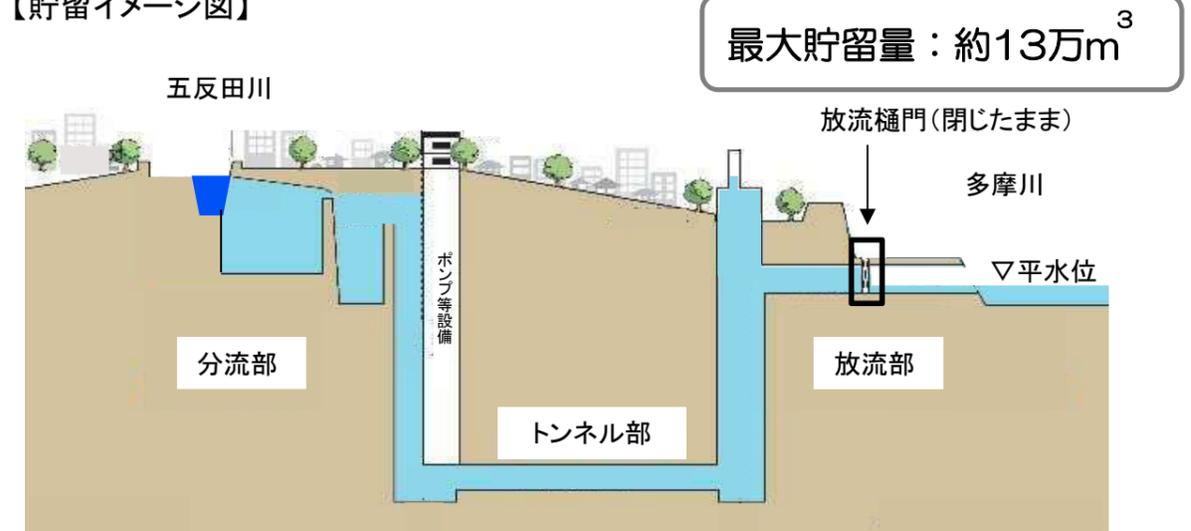
1) 暫定運用について

目的 近年の豪雨災害の発生状況を考慮し、一部完成している施設を活用し分流部下流域の浸水被害を軽減する。

運用方法 五反田川の水位が上昇した時に施設内に洪水を取り込み、分流・放流立坑とトンネル部を利用して一時的に貯留する。

運用時期 令和2年6月から運用開始

【貯留イメージ図】



2) 五反田川放水路設備その2工事（機械）について

- 工事場所：川崎市多摩区生田8-3地先
- 工期：令和2年6月から令和6年3月末まで（予定）
- 工事概要：転倒堰、除塵機、揚砂設備、排水ポンプ、給排気設備、流入規制ゲート、車両リフト、エレベータなどの製作及び据付

現場状況写真

分流立坑（上）

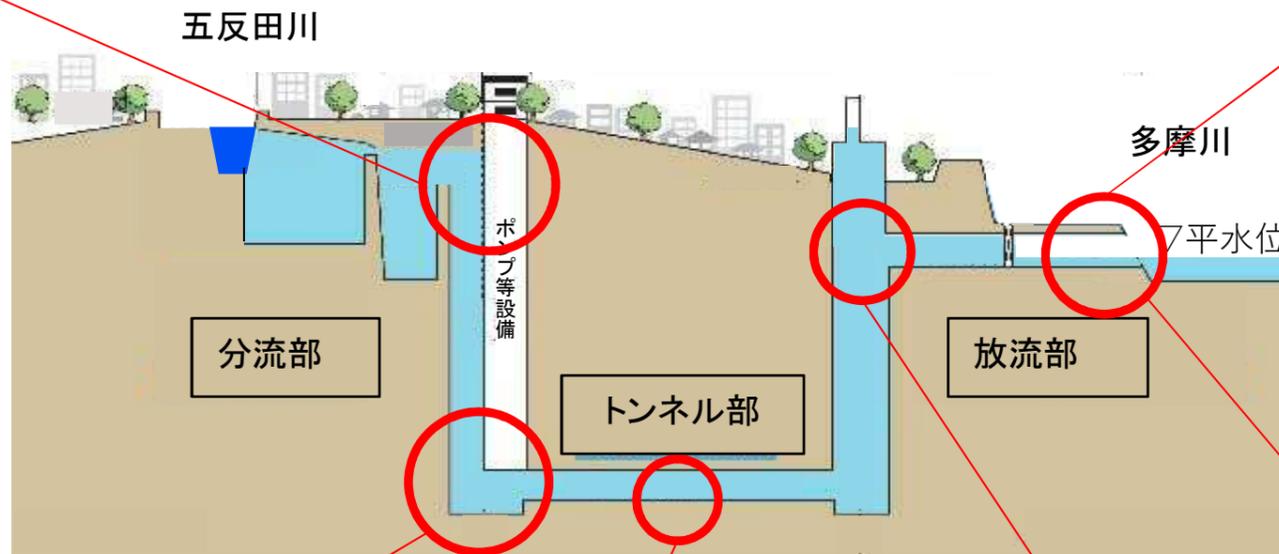


分流立坑（下）



提供：k-press

暫定運用時



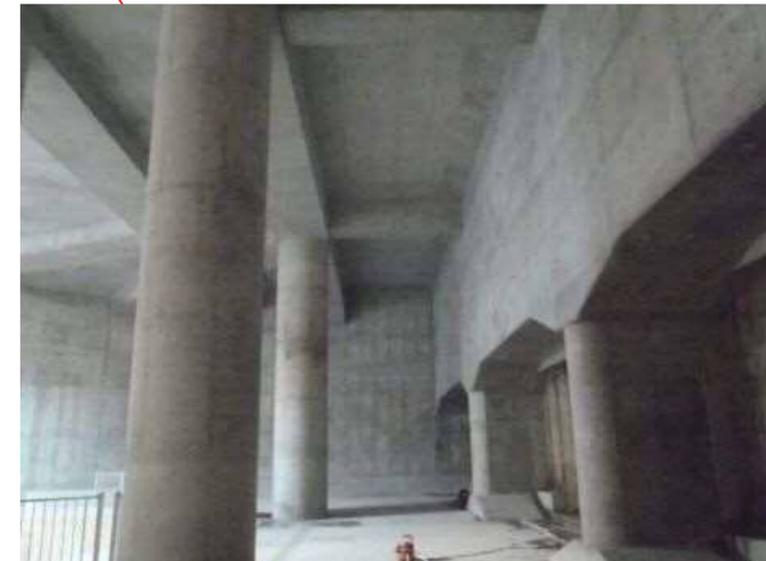
堤外水路



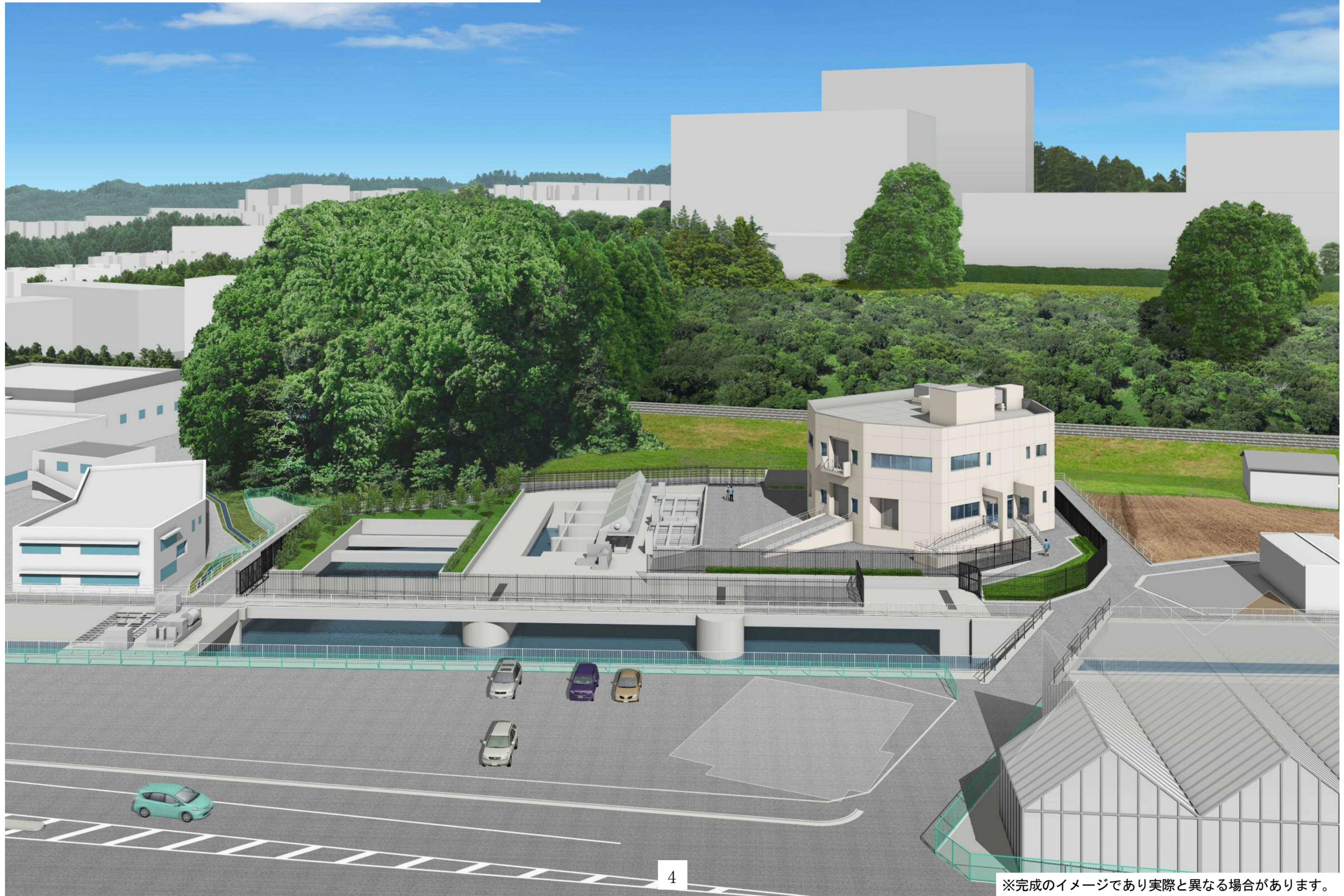
トンネル部



放流部施設

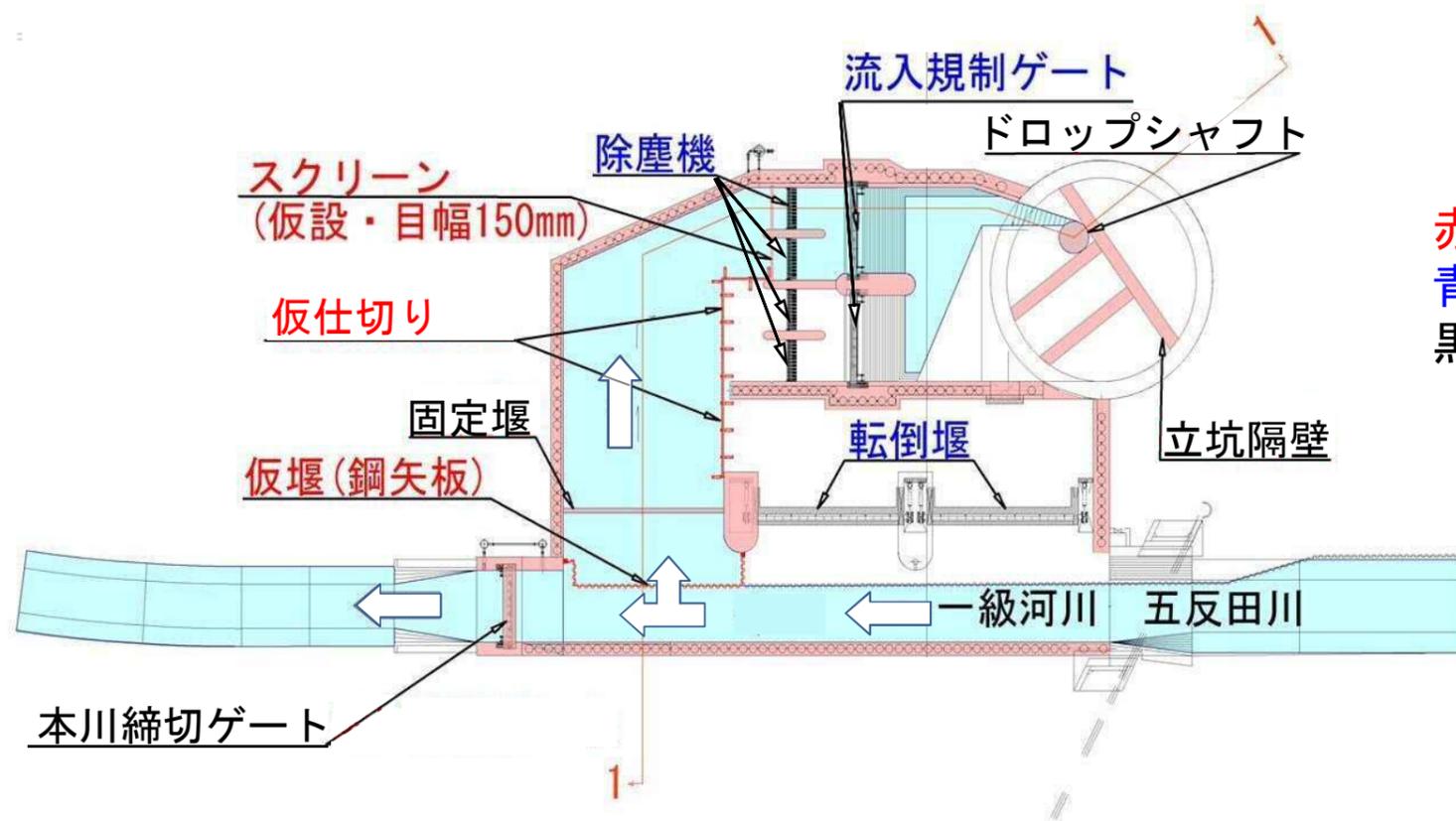


五反田川放水路分流部完成イメージパース



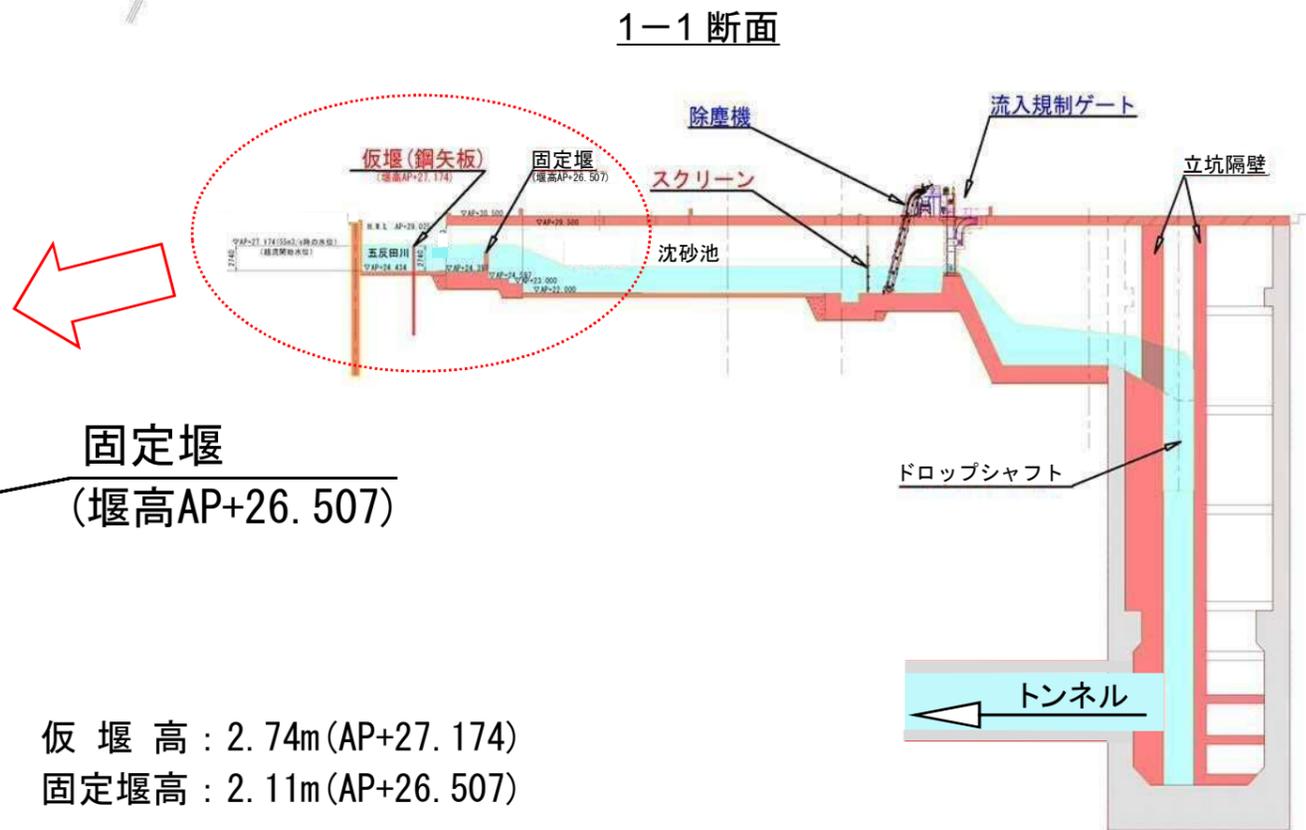
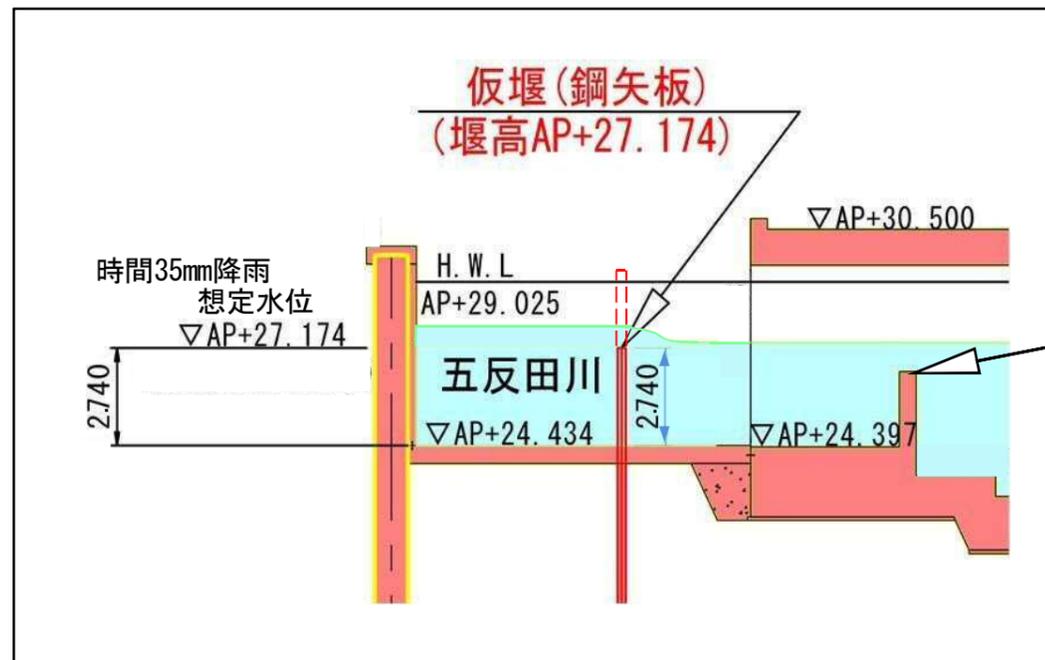
五反田川放水路分流部図面

平面図



赤字：暫定運用仮施設
 青字：設備その2工事 設置施設
 黒字：完成施設

断面図



固定堰
 (堰高AP+26.507)

仮堰高：2.74m (AP+27.174)
 固定堰高：2.11m (AP+26.507)

五反田川放水路放流部完成イメージパース



※完成のイメージであり実際と異なる場合があります。

放 流 部

